



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月24日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東  
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年11月19日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,936	4.6	1,096	22.0	1,103	23.1	781	36.4
26年3月期第2四半期	5,675	△40.4	898	△57.9	896	△58.2	572	△59.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 770百万円 (34.0%) 26年3月期第2四半期 574百万円 (△59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	62.99	—
26年3月期第2四半期	46.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	14,470	13,374	92.4	1,078.43
26年3月期	13,855	12,976	93.7	1,046.32

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,374百万円 26年3月期 12,976百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	△3.1	1,350	△30.3	1,350	△30.4	950	△4.9	76.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	12,402,252株	26年3月期	12,402,252株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	54株	26年3月期	54株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	12,402,198株	26年3月期2Q	12,402,198株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。

当社は、平成26年10月27日（月）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9
(2) 最近における四半期毎の業績の推移 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策により、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな景気回復基調が持続しました。しかしながら、円安に伴う輸入原材料やエネルギーコストの上昇、消費税率引き上げによる影響など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの中心的市場である遊技機器市場（パチンコ・パチスロ機市場）におきましては、安定稼働が見込める一部の有力機種の販売は堅調に推移しているものの、遊技ホールの厳しい収益環境を背景に全体としては低調に推移しております。また、平成26年9月にパチスロ機の製造に係る試験変更及び自主規制が実施されており、今後のパチスロ機の販売動向には注視していく必要があるものと考えております。

かかる環境の中で当社グループは、主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向けグラフィックスLSI（注1）（サウンド、LED（注2）制御等の機能を統合した製品を含む）を中心に各種製品の販売に注力し、同市場における事業規模の拡大に注力いたしました。さらには、組み込み機器市場（注3）に向けたグラフィックスLSIの採用拡大を図るとともに、子会社である株式会社ニューズーンにおいて無線分野に向けた製品等の営業活動にも注力いたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向けグラフィックスLSIに関しましては、市場環境やAG4のリユース（再使用）の影響を受け、前年同期比約2万個減の約62万個となりました。また、同市場に向けたその他製品に関しましては、LEDドライバLSI（注4）は前年同期を下回る販売となりましたが、メモリモジュール製品は特定顧客の需要動向により前年同期を大幅に上回る販売となりました。以上によりパチンコ・パチスロ機市場向け各種LSI製品の売上高は、前年同期比4.8%増となる5,748百万円となりました。組み込み機器市場向けグラフィックスLSIに関しましては、前年同期比14.3%減の95百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板等のその他製品の売上高に関しましては、前年同期比15.0%増となる92百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.6%増となる5,936百万円となりました。

売上総利益は売上高の増加に伴い前年同期比2.7%増となる2,464百万円となりました。売上総利益率では前年同期比0.8ポイント低下となる41.5%となりましたが、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIにつきましては、仕入れコストの低減効果等により製品粗利益率は若干改善しております。

販売費及び一般管理費は、前年同期比8.9%減となる1,368百万円となりました。研究開発費では次世代LSIの試作開発等に係る大きな支出もなく、前年同期比14.1%減となる843百万円の支出となっております。

以上により、営業利益は1,096百万円（前年同期比22.0%増）、経常利益は1,103百万円（前年同期比23.1%増）、四半期純利益は781百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

（注1）「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しております。

（注2）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われております。

（注3）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

（注4）「LEDドライバLSI」とは、パチンコ・パチスロ機に搭載されるLEDを効率的に制御するためのLSIを意味しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で615百万円増加となる14,470百万円（前連結会計年度末比4.4%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（954百万円）、商品及び製品の増加（248百万円）に対し、売掛金の減少（421百万円）等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で216百万円増加となる1,095百万円（前連結会計年度末比24.7%増）となりました。主な要因は、未払法人税等の増加（327百万円）等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で398百万円増加となる13,374百万円（前連結会計年度末比3.1%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（409百万円）等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、10,862百万円（前年同期比3.4%増）となりました。当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は1,403百万円（前年同期は1,772百万円の支出）となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間における税金等調整前四半期純利益（1,103百万円）、売上債権の減少（421百万円）、法人税等の還付額（232百万円）に対し、たな卸資産の増加（248百万円）、その他流動負債の減少（194百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は74百万円（前年同期は119百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出（49百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は373百万円（前年同期は867百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払（372百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年8月15日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。なお、本日公表しました「連結子会社からの事業譲受け及び当該子会社の解散に関するお知らせ」に記載のとおり、連結子会社である株式会社ニューゾーンからの事業全部の譲受け、並びに同社の解散及び清算を決議いたしました。当該子会社は100%出資子会社であるため、当社連結業績に与える影響は軽微であります。また、同社の財政状態等から、個別業績に与える影響も軽微であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,908	6,863
売掛金	997	575
有価証券	3,999	3,999
商品及び製品	1,565	1,813
原材料及び貯蔵品	0	1
その他	546	320
流動資産合計	13,018	13,574
固定資産		
有形固定資産	271	334
無形固定資産	44	41
投資その他の資産	521	519
固定資産合計	836	895
資産合計	13,855	14,470
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	358	295
未払法人税等	—	327
その他	487	436
流動負債合計	845	1,059
固定負債		
資産除去債務	32	33
その他	—	2
固定負債合計	32	35
負債合計	878	1,095
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	11,063	11,472
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,944	13,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	21
その他の包括利益累計額合計	32	21
純資産合計	12,976	13,374
負債純資産合計	13,855	14,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,675	5,936
売上原価	3,275	3,472
売上総利益	2,399	2,464
販売費及び一般管理費	1,501	1,368
営業利益	898	1,096
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	1
還付加算金	0	4
その他	1	2
営業外収益合計	4	8
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	1
その他	5	1
営業外費用合計	6	2
経常利益	896	1,103
税金等調整前四半期純利益	896	1,103
法人税等	323	321
少数株主損益調整前四半期純利益	572	781
四半期純利益	572	781

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	572	781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△11
その他の包括利益合計	1	△11
四半期包括利益	574	770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574	770
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	896	1,103
減価償却費	62	59
受取利息及び受取配当金	△3	△2
投資事業組合運用損益(△は益)	1	1
売上債権の増減額(△は増加)	△358	421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△438	△248
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△157	△83
仕入債務の増減額(△は減少)	△2	△63
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△593	△194
その他	△159	174
小計	△753	1,167
利息及び配当金の受取額	3	2
法人税等の還付額	-	232
法人税等の支払額	△1,023	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,772	1,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△82	△49
無形固定資産の取得による支出	△17	△6
資産除去債務の履行による支出	△17	-
その他	△2	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119	△74
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△0	△1
配当金の支払額	△866	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△867	△373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,759	954
現金及び現金同等物の期首残高	13,264	9,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,504	10,862

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年10月24日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ニューゾーンから事業の全部を譲り受け、同社は事業譲渡後、解散及び清算することを決議いたしました。

1. 事業譲受け及び解散の理由

株式会社ニューゾーンはデジタル簡易無線分野に向けた事業を展開しておりますが、このたび、グループ内における経営の合理化、効率化を図るため、同社の事業全部を譲り受け、その後同社を解散及び清算することといたしました。

2. 当該子会社の概要

- (1) 商号： 株式会社ニューゾーン
- (2) 本店所在地： 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
- (3) 代表者： 代表取締役社長 佐々木譲
- (4) 事業内容： 半導体及び電子機器の開発販売
- (5) 資本金： 250百万円
- (6) 設立年月日： 平成22年12月1日
- (7) 株主構成： 当社100%

3. 当該子会社の資産、負債の額（平成26年3月31日現在）

資産額 76百万円  
負債額 8百万円

4. 日程

平成26年10月24日 取締役会決議  
平成26年10月24日 事業譲渡契約締結  
平成26年12月1日 事業譲渡効力発生日（予定）  
平成26年12月1日 子会社臨時株主総会にて解散決議（予定）  
平成27年3月下旬 子会社清算終了（予定）

5. 当該子会社の解散による損失見込額

当該解散及び清算に伴う連結及び個別業績に与える影響は軽微であります。

6. 当該子会社の解散による営業活動等への影響

当該解散及び清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前期比(%)
パチンコ・パチスロ機市場向LSI製品(百万円)	6,143	△1.3
組み込み機器市場向LSI製品(百万円)	225	129.8
その他(百万円)	132	126.8
合計(百万円)	6,501	1.9

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)			
	受注高 (百万円)	前期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期比 (%)
パチンコ・パチスロ機市場向LSI製品	5,982	△14.6	3,258	△12.1
組み込み機器市場向LSI製品	105	2.4	47	5.4
その他	100	25.1	20	171.2
合計	6,188	△13.9	3,326	△11.5

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前期比(%)
パチンコ・パチスロ機市場向LSI製品(百万円)	5,748	4.8
組み込み機器市場向LSI製品(百万円)	95	△14.3
その他(百万円)	92	15.0
合計(百万円)	5,936	4.6

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
緑屋電気株式会社	5,381	94.8	5,705	96.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

平成27年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 26年4月～26年6月	第2四半期 26年7月～26年9月	第3四半期 26年10月～26年12月	第4四半期 27年1月～27年3月
売上高	3,326	2,610	—	—
売上総利益	1,569	894	—	—
営業利益	888	208	—	—
経常利益	890	212	—	—
税金等調整前四半期純利益	890	212	—	—
四半期純利益	634	147	—	—
四半期包括利益	637	132	—	—
1株当たり四半期純利益	51.13円	11.86円		—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,013	14,470	—	—
純資産	13,242	13,374	—	—
1株当たり純資産	1,067.72円	1,078.43円	—	—

平成26年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 25年4月～25年6月	第2四半期 25年7月～25年9月	第3四半期 25年10月～25年12月	第4四半期 26年1月～26年3月
売上高	3,154	2,521	3,264	2,102
売上総利益	1,190	1,209	1,695	1,110
営業利益	521	376	812	226
経常利益	518	377	817	226
税金等調整前四半期純利益	518	377	417	226
四半期純利益	338	234	256	169
四半期包括利益	336	238	268	185
1株当たり四半期純利益	27.28円	18.91円	20.67円	13.64円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,169	13,896	13,930	13,855
純資産	12,594	12,832	12,791	12,976
1株当たり純資産	1,015.52円	1,034.71円	1,031.35円	1,046.32円